

各位

全3ページ
登録速報(2020-051)
2019年12月18日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2019年12月18日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第24133号

名称：ゼクサロンパディート箱粒剤

2. 変更の内容

農薬登録申請書第7項中、以下を変更し、別紙1【変更後】のとおりとする。

①作物名「稲」（使用方法「側条施用」）を追加する。

②作物名「稲（箱育苗）」の適用病害虫名「イネドロオイムシ」の使用方法「育苗箱の覆土に均一に混和する。」を「育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。」に変更する。

適用病害虫名「フタオビコヤガ」の使用時期「移植当日」を「は種時(覆土前)～移植当日」に変更する。

適用病害虫名「フタオビコヤガ」に使用方法「育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。」を追加する。

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容 農薬登録申請書第8項に、5)を追加し以降を繰り下げ、別紙2【変更後】のとおりとする。

【追加】

5) 側条施用をする場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用すること。

別紙 1

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	は種時(覆土前) ～移植当日	1 回	育苗箱の上から 均一に散布する。
	ウカ類 ツマゲ、ロコバイ イネミスズウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ		は種前		育苗箱の 床土又は覆土に 均一に混和する。
	フタホビコヤガ		移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する。
	イネトオイムシ		は種時(覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する。
			は種前		育苗箱の覆土に 均一に混和する。

シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数
1 回	1 回

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ウカ類	1kg/10a	移植時	1 回	<u>側条施用</u>
稲 (箱育苗)	イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	<u>は種時(覆土前)</u> <u>～移植当日</u>		育苗箱の上から 均一に散布する。
	ウカ類 ツマゲ、ロコバイ イネミスズウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ <u>イネトオイムシ</u> <u>フタホビコヤガ</u>		は種前		<u>育苗箱の 床土又は覆土に 均一に混和する。</u>

シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数
1 回	1 回

別紙2

【変更後】

8. 使用上の注意事項

- 1) 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用すること。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないこと。
- 2) 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布すること。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落とすこと。
- 3) 育苗箱の土壌表面が乾燥していて苗を田植え機にのせる際、薬剤が落下するおそれがある場合は散布後葉に付着した薬剤を払い落とした後軽く灌水すること。
- 4) 軟弱徒長苗、老化苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
- 5) 側条施用をする場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用すること。
- 6) 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので代かきは丁寧におこない、移植後田面が露出しないように注意すること。
- 7) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上